

倒れてからでも遅くない

福岡県水巻町の遠賀中間医師会館で1月22日に開かれた第137回患者塾。前半のテーマは「倒れてからでも遅くない」。言語聴覚士の役割や息がしやすくなるリハビリについても専門の医師から分かりやすい説明があった。

脳こうそく

△60歳の男性▽83 が、こういふことを扱った父が脳こうそく。うりハビリはあります。倒れた後、きちんと。

リハビリでのみ込み訓練

重要な言語聴覚士の存在

としゃべれず、食べ 西野さん 食べ物が めないということになるのにも苦労してい 口に入って、のみ込みがう ます。イライラして というのは、でも複雑 にくいかなと嚥下性 肺炎という致命的な病



津田文朗さん

出席された方々

西野憲史さん(西野 病院(北九州市)▽伊 藤重彦さん(北九州市 立八幡病院▽平田敬治 さん(福岡県芦屋町) さん(福岡県芦屋町)

気になるとも多いの ことは難しいと思うの ですね。言語聴覚士がそ ば ところで大事になるの について指導していく ます。理学療法士や 作業療法士は嚥下訓練 をするための勉強を受 けていないので、言語 聴覚士がいる施設でリ ハビリを受けることが 大事です。

津田さん、離乳食を 食べ始めた乳児が段々 と食べるものを固い物 に変えていくように、 障害のある方が食べる 存在です。

患者者塾

「患者者塾」は、患者さん自身が、病気の予防や治療について学ぶための場です。

痰を出す訓練に効果

肺気腫 △64歳の男性▽す っとタバコを吸ってい るリハビリがあると聞 きます。「スブリーバ」 という薬を使っていま したがあまり改善しま せん。息をしやすくな るリハビリがあると聞 きます。「スブリーバ」

記者の一言

霧島山系・新燃岳の 噴火で現地に8日間滞 在し、取材に当たった。 宮崎県高原町と都城市 は降灰がひどく、火山 灰でかすんで街全体が ぼやけて見えた。

これからのリハビリ

小野村さん、これが 組みをスタートさせた らのリハビリについ て、西野さんはどう考 えていますか。 として、まず横に座っ

理解深める取り組みを

西野さん、私の病院 西野さん、私の病院 西野さん、私の病院 西野さん、私の病院

おのの出版 患者者塾 医療者者塾

す。気管支を拡張させ あります。体内にた ます。いくつかの病院

げり (下痢 英語 diarrhea)

患者語：便が柔らかくなったり、ひどい場合は水のような 状態。このような状態で水分を取り過ぎるとさらに ひどくなる可能性があり、控えた方がいい。また、 下痢が続くと体力を消耗するので、下痢止めを積極的 に使って早期に普通便に戻すことが大切。 医者語：軟便や水様便が1日に200ml以上出る状態。原因は ロタウイルスやノロウイルス、O-157などによる感 染のことが多いが、癌(がん)や炎症性の病気が原因 のこともあるので注意が必要。感染の場合、下痢止め を必要以上に使うと原因となる菌やウイルスが排出さ れず治りが悪くなる。下痢による脱水は命取りになる こともあり、スポーツドリンクや医療用のOS-1など で積極的な水分の補給をした方がいい。

下痢がひどいと下痢止めを使い続ける人がいますが、危険で す。医師や薬剤師によく相談して下さい。また、下痢の原因は 感染だけではなくありません。下痢が続く時には、必ず検査が必要 です。素人判断で長期間経過を見るのはよくありません。